



《 特例 》 日本脳炎予防接種のご案内

日本脳炎予防接種は、接種後に重い病気になった事例があったことから、平成17年5月30日から平成21年6月にかけて予防接種の実施を控えていました。その後新たなワクチンが開発され、現在は通常通り予防接種を受けられるようになってきています。このため平成7～18年度に生まれたお子さんは、日本脳炎の予防接種を受ける機会を逃している可能性があります。該当者は定期予防接種（市町村の責任により公費で受ける予防接種）として接種を受けることができますので、積極的に接種を受けましょう。

※接種を受ける際に必要な「予診票」は、これまでに受けた接種の回数により使用する枚数が異なります。接種を希望される方は、母子健康手帳を持参のうえ健康推進課までお越しください。



4回すべての接種が完了した方にこの案内が届いた場合は、お手数をおかけしますが、市健康推進課までご連絡ください。

対象者

釜石市に住所がある平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれの人で、これまでに日本脳炎予防接種をまったく受けていないか、不足分の接種がある人

期間

20歳を迎える前日まで

費用

無料。ただし対象期間を過ぎた場合や、裏面に記載の医療機関以外で接種を受けた場合は、助成対象外のため自己負担となります。

受診方法

接種を希望する人は、医療機関で予約したうえで接種を受けてください。接種を受ける際は、記入済みの予診票と母子健康手帳を必ず持参してください。

標準の予防接種スケジュール

3歳を迎えてから計4回接種します。

- ①第1期（初回接種）…6日以上の間隔をあけて2回接種
- ②第1期（追加接種）…2回目の接種から6か月以上あけて1回接種
- ③第2期 …9～13歳未満の間に1回接種

今回の予防接種スケジュール

<p>まだ1度も接種していない</p> <p>標準スケジュールでの接種です。20歳になる前に完了してください。</p>	<p>初回接種(1～2回目)のみ受けた</p> <p>残りの回数を6日以上あけて接種します。追加接種も忘れずに受けましょう。</p>	<p>追加接種(3回目)まで受けた</p> <p>◎5～8歳の方は、9歳を迎えてから第2期の接種をします。 ◎9歳以上の方は、追加接種後6日以上あけて接種します。</p>
--	---	--

- ◆ 5～8歳の方は、9歳を迎えたら第2期の接種を受けましょう。
- ◆ 9歳以上の方は、追加接種を受けた後、6日以上あけて第2期の接種を受けてください*。
- ◆ 20歳になる前に、すべての接種を完了させてください。



※ 第2期接種は通常、第1期接種終了後5年の間隔をあけて接種することが望ましいですが、年齢などを考慮し、接種医と相談してください。

接種できる医療機関 予約のうえ接種を受けてください。予約方法は各医療機関にお問い合わせください。

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
神林医院	23-6635	平野医院	22-1273
釜石ファミリークリニック	31-1616	小泉医院	23-5157
小笠原内科クリニック	25-2580	堀耳鼻咽喉科眼科医院	25-3251
釜石しょうけいクリニック	27-8571		※2024年3月現在

日本脳炎のこれまでの流れ

平成17年5月30日

厚生労働省健康労働局結核感染症課から、日本脳炎ワクチン接種の積極的勧奨を差し控えるよう勧告がありました。因果関係は不明なものの、日本脳炎ワクチンを接種した後に重症 ADEM（急性散在性脳脊髄炎）を発症した事例があったためです。

平成21年2月23日

新しい日本脳炎ワクチン（乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン）が承認されて、6月から供給が開始されました。

平成22年4月1日

ワクチン評価に関する小委員会で安全性や供給実績を検討した結果、第1期の予防接種（初回接種2回：生後6ヶ月以上90ヶ月未満対象、追加接種1回：初回接種後1年後実施）について、積極的に勧奨するべきであると判断されたことを受けて、3歳児に接種勧奨を開始しました。

平成22年8月27日

乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの第2期予防接種における使用が明記されました。接種の勧奨差し控えにより接種機会を逃した方（第1期3回分）への接種機会と特例措置で確保しました。

日本脳炎とは

日本脳炎ウイルスの感染によっておこる脳や脊髄など中枢神経の病気です。ブタなどの動物の体内でウイルスが増殖して、そのブタを刺したコガタアカイエカ（水田などに発生する蚊の一種）がヒトを刺すことによって感染します。ヒトからヒトへの感染はありません。

東アジア・南アジアにかけて広く分布する病気で、日本では、大部分が、九州・沖縄地方および中国・四国地方で発生しますが、将来的に温暖化の影響で、東北地方・北海道へのウイルス媒介蚊の分布域が拡大し感染のリスクが発生する可能性も考えられています。



急性散在性脳脊髄炎(ADEM)について

各種のウイルス感染またはワクチン接種後4～21日目に、複数の病巣による神経症状を急性にきたす病気です。ウイルス感染の中では「麻しん」に多く、そのほか水痘（みずぼうそう）、おたふくかぜ、インフルエンザなどの感染症後に見られることがあります。頭痛、発熱、嘔吐、意識障害、精神症状、けいれんなどの脳炎症状が主症状の場合と、両下肢麻痺、排尿障害など脊髄症状を主体とする場合があります。

お問い合わせは 釜石市保健福祉部健康推進課まで

🏠 大渡町3-15-26（保健福祉センター2階） ☎ 22-0179

